ほら、
よこはま はあったかい

福祉よこはま

社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会

市民活動・ボランティア活動情報誌

2012年
9月14日
No.165

神奈川県ライトセンター（旭区）で行われた
第7回 全国ブラインドダンス選手権大会（8月19日撮影）

特集
スポーツのちから
～障害者スポーツの魅力～
…2,3,4

目次

福祉の仕事……5
Let's try ボランティア……6
ボラセン情報……7
市社協情報……8
福祉Q&A……9
オススメCHINEMA……9
リレートーク……9
みんなのきもち ありがとう
寄付者、賛助会員のご紹介…10
みんなの声……11
福よこクイズ……11

「福祉よこはま」は、一部共同募金配分金を活用して発行しています。

「福祉よこはま」は、横浜市が編集に協力しています。

特集

スポーツのちから

～障害者スポーツの魅力～

病気や事故による障害があっても、スポーツに情熱を燃やす人たちがいます。最初はリハビリから。やがてその競技が好きになり、仲間と。親子・夫婦で。家族の応援にこたえて。障害者スポーツはスポーツ本来の魅力に加えて、バリアフリーで誰でも参加できます。みなさんもぜひ一緒に楽しんでみませんか。

横浜ラポール

詳しくは4ページ

車椅子ツインバスケットボール

一般用コートに高低差のある2つのバスケットゴールを用意し、重度障害の競技者も参加できるようにルールなどの工夫をしています。

▲▶ラポールで活動する「ツインバスケットボールを楽しむ会」のみなさん

ボッチャ

革製のボールを投げ、的球（まとだま）にどれだけ近付けられるかを競います。パラリンピックでは重度障害者が参加する公式種目になっていますが、ラポールでは誰でも楽しめるスポーツとして多くの方に親しまれています。

ウィルチェアーラグビー

ボールを相手のゴールまで運ぶと得点になります。車椅子を激しくぶつけるタックルが認められているため、北米では“マーダーボール(殺人ボール)”とも呼ばれています。2000年のシドニーパラリンピックから公式競技となりました。

パラリンピック出場をめざす
菅野 元輝さん

14歳の時、スキー競技中に怪我をしてから、どんなスポーツがカッコいいかを考えてウィルチェアーラグビーにたどりつきました。「激しい当たりが最初は心配でしたが、パラリンピックをめざすというので応援しています」とお母さん。

サウンド・テーブル・テニス(STT)

静かな環境で行われる、ボールの音が頼りの種目。ラリーが続くと白熱していきます。

横浜ラポールで参加できる様々なスポーツに取り組む利用者に聞きました

佐藤喜代子さん

仲間のひと声、スタッフの挨拶で気分がぐっと良くなります。

岸田さん夫妻

ここにはたくさんの仲間がいるから(邦雄さん)。家族も励まされ、元気づけられます(希美枝さん)。

大山ちづるさん

夫がライバル。どんな競技も負けたくなーい!

伊藤さん夫婦

卓球のある日はさっと起き上がるんですよ(務さん)。のんびりしていられませんもの(節子さん)。

神奈川県ライトセンター

詳しくは4ページ

ライトセンターで活動する 社交ダンスクラブ野ばら

全国ブラインドダンス選手権大会（8月19日: 表紙写真）を前に、練習に熱が入ります。「地元開催なので個人戦、フォーメーション(団体)の各種目に参加する全員の入賞をめざします」と代表の笠羽明美さん。

メンバーは50人（男性15・女性35/晴眼者20・視覚障害者30）。ボランティアからの言葉を頼りに、ステップや身体の向きを合わせていました。

ブラインドダンスは、視覚障害のある方が、晴眼者とともに行う社交ダンスです。パートナーとなるボランティアの存在がとても大きな種目です。

稲橋さん

コーラスやエアロビクスにも参加しています。ダンス歴は15年になります。

丸山さん

社交ダンスを始めて20年になります。ラポールでは卓球も楽しんでいます。

練習の合間、ベンチで休憩していた3人の女性。「男性ボランティアの方には感謝の気持ちでいっぱい。でも、ありがとう、と言うのは照れ臭くて…。誌面を通じてお礼を伝えてください」。

一緒にダンスを踊ってくださるボランティアを募集しております。詳しくは、神奈川県ライトセンターへ

港南台ひの特別支援学校 親子陸上教室

特別支援学校とは…
詳しくは9ページ

毎月2回･土曜日午前10時～ 11時。学校グラウンドで年間20回ほど実施します。参加するのは児童生徒39人とその保護者、教員15人。

和田さん(高校3年) 親子

朝･昼のランニングで自信をつけた本人。続けたいという気持ちに応えようと毎回参加しています。スポーツを通じて父と子のいい関係が築かれています。

▲準備体操の様子

早川さん(中学1年) 親子

本人は特に50メートル走が好きです。特別支援学校の先生方が熱心なので、教室のある日は親子ともにのびのびと過ごせます。

清水さん(高校2年)

親子陸上教室が始まって以降、参加しています。身体づくりに役立ち、スポーツとして上達していく過程を把握できるのがいいです。

特集 スポーツのちから ～障害者スポーツの魅力～

私たちも一緒に楽しんでいます

横浜ラポール

スポーツ事業課長　丸山健さん

スポーツを始め表情や姿勢に変化が見て取れた時が、とにかくうれしいです。スポーツを続けていく気力・体力の素晴らしさに頭が下がります

スポーツ指導員　伊藤俊之さん

障害者スポーツは激しく、力強い面があります。ぜひラポールで、様々な種目を見て、できれば体験していただきたい。きっと想像力が刺激されます。

スポーツ指導員　宮地秀行さん

スポーツをしているときの皆さんの表情を見ていると、障害があるということを忘れてしまいます。スポーツは障害の有無を超え、人と人をつなぐ素晴らしいツールなのだと思います。

ツインバスケットを手伝っています

車椅子ラグビー・ツインバスケット
大学生ボランティア　千葉亜紀さん

メンバーといると、いつも元気をもらいます。いけないことはいけない、とはっきり言ってくれるのがありがたい。スタッフとして役に立つために、何でも思ったことを言ってほしいです。

神奈川県ライトセンター

スポーツ担当　白崎正彦さん

ライトセンターができたことで視覚障害者の外出機会が増え、晴眼者との交流も広がりました。特に中途失明の方が楽しみをいかに見つけられるか、私たちはその手伝いをしていきたいと思います。

ブラインドダンスを手伝っています

ボランティア
鈴木小一さん

先生の指導を間違えることなくパートナーに伝えるのは難しいが、晴眼者と視覚障害者が一緒にできるのがブラインドダンスのいいところですね。

港南台ひの特別支援学校

副校長
中嶋浩一さん

準備運動のあとは50メートル走、50 メートルハードル走、持久走、ソフトボール投げなど自由に参加できます。各種目のルールは厳守。毎回の記録は年2回の記録会で掲示され、その努力に拍手を送ります。

お気軽にお越しください

障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール

障害者を中心とした市民相互の交流の輪を広げ、ノーマライゼーション推進の拠点となることを目的として1992年8月に開館。障害の有無にかかわらず利用できる。運営は社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団。

〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1752
☎045-475-2050　FAX:045-475-2053
http://www.yokohama-rf.jp/shisetsu/rapport/

神奈川県ライトセンター

点字図書、録音図書の製作・貸出と視覚障害に関する各種相談、歩行や点字など日常生活に必要な技術指導、スポーツ振興、ボランティア指導育成などを行う。1974年に神奈川県が設置。運営は日本赤十字社。

〒241-8585 横浜市旭区二俣川1-80-2
☎045-364-0023　FAX:045-364-0027
http://www.kanagawalc.org

シリーズ⑭

福祉の仕事 〈〈〈〈 義肢装具士 〉〉〉〉

義肢装具士 とは

義肢装具士は、厚生労働大臣の免許を受けて、医師の処方の下に、義肢及び装具の装着部位の採寸・採型、製作及び身体への適合を行うことを仕事とする人です。
利用者のために夢中になれる魅力的な職場を紹介します

木村義肢工作研究所の義肢装具士 北川新二さん に聞きました

●仕事に手ごたえ、やりがいを感じるのは…

例えば、装着歩行訓練などを経て本義足が完成し、利用者に届けられた時。

その後、利用者のQOL（生活の質）向上とともに義肢・装具へのニーズが変わっていくことです。階段が登れるようになり、外出もスムーズになり、今度は走ってみたい、と言うように…。一度、利用者とのお付き合いが始まると、エンドレスの部分がある仕事です。

▲展示ブースで

◀工場長の大橋浩さん（右）と。大橋さんも義肢装具士の資格を持つ

●義肢装具士に必要なものとは…

義肢・装具の専門家として身体機能に影響する疾患、障害といった医療的な知識、ニーズを満たす素材選別、加工技術などは欠かせません。そして、現場経験を積みながら多くのアイデアを自分の引き出しに貯めていくことです。利用者から「任せてよかった」と信頼されるよう、利用者の気持ちをわかろうとする姿勢が大切になります。

●みなさん、仕事に熱中していますね

試作～本義肢完成までなるべく短期間で進めるために当社では営業（装具士が兼務）と試作・仕上げ担当技術者がチームを組んで対応しています。多忙な時期は年に何度もやってきますが、待っている人がいると思うと時間を忘れます。

▼木村義肢工作研究所の若手の技術者と

▲義肢・装具製作技能士の森 崇契（たかひさ）さんと。ファーストブレース（訓練用義足）について細かな点を話し合う

取材協力：有限会社 木村義肢工作研究所
☎045-892-5424

北川さんの一日

8:30　出社
病院、リハビリセンター等へ出向
午前
↓ 病院・施設での義肢クリニック、ブレースクリニック（装具の検討・修正）に参加
午後
夕方　在宅対応のケース宅へ出向

19:00～　帰社
事務作業　製作作業
製作・事務スタッフとの打合せ

義肢装具士のほとんどは、民間の義肢装具製作施設に所属しています。
他にも、部品メーカーやスポーツ用品メーカーで、材料やパーツの開発、競技用のシューズやサポーターといった用具の研究・開発を行ったり、海外の災害地に赴き、現地での義肢装具提供や技術者の育成といった国際協力に携わる人もいます。様々なところで活躍する機会のある仕事です。

横浜市内の福祉人材に関する求人情報

ウェルじゃん求人情報
http://www.yokohamashakyo.jp/willing/weljan/weljan-kyujin.html
横浜市介護人材求人情報システム
http://cgi.city.yokohama.jp/kenkou/zinzaikakuho

Let's try ボランティア

ボランティアはやってみたいけれど、実際にはどんなことをするの？できるの？　そんなギモンにこたえる、Let's try ボランティア。今回は、パラリンピックなどで注目を集める盲人マラソン伴走者として活躍中の栗田雅章さんにお話を聞きました。

伴走の目的は何ですか

「出来る限り自分が走るときと近い状況を、ランナーに提供すること」です。走行中に転ばない、つまずかないように伴走ロープや言葉でコース状況を伝え、ゴールをめざします。

伴走者は走力が求められますか

伴走をする相手のランナーよりも走力があって、相手の気持ちを考え、責任感がある方なら誰にでも出来ると思います。

伴走は、走ることに絞られる…

家から外に出るための散歩の付き添いも立派なボランティアです。短い距離のジョギングから始めたいので伴走してほしい、というニーズもあります。定期的に行われる日本盲人マラソン協会主催の練習会で、20代女性とウォーキングをしたのが私の伴走初体験です。

情報の約80%は視覚から、と言われています…

伴走を望むのは、何らかの原因で視覚が不十分になってしまった方たちです。視覚から得ていた多くの情報が思うように届かない気持ちを、まず理解することから始めるといいと思います。何よりも大切なことは、相手の立場になってものごとを考えることです。そうすることで色々な気付きを得ることができ、ランナーにより良いサポートが出来ると思います。

二人三脚でめざすゴール、自己ベスト

▲横浜市選手権(1500m)で優勝したことのある栗田さん。競技者として目標の一つを達成し、その先を考えていた時、「自分のできることで人の役に立ち、やりがいを感じることができる大切さ」を、尊敬している上司が教えてくれました。この助言から伴走ボランティアの研修に参加し、伴走歴は3年になります。北京パラリンピックのマラソン代表に選ばれた加治佐博昭さん(左)を伴走したとき時の写真(2009年、栃木・大田原マラソン)。加治佐選手は横浜在住。全日本盲人マラソン選手権大会(B2クラス)などでも優勝しているトップアスリートです。

パートナーとの信頼関係は

とても大切です。ランナーとの関係は伴走するときだけではないからです。目的地までの誘導や食事、それに買い物など私生活の一部までサポートさせて頂くこともありますので、ランナーに安心してもらえるような信頼関係が不可欠です。練習や大会日のドタキャンはしてはいけないことです。

日本盲人マラソン協会　代々木公園練習会のご案内

JBMA代々木公園練習会は視覚障害者と伴走者の練習会です。
伴走経験のない方、走ることは無理かも?と思っているボランティアさんも大歓迎!
伴走の基本から知ることができます。

練習日　毎月第一日曜日（1月のみ初詣混雑回避のため第二日曜開催）
時間　9時30分～12時（9時頃よりJR原宿駅改札に案内がいます）

NPO法人 日本盲人マラソン協会（ 略称：JBMA ）

1984年の設立。NPO法人化は1999年。より良い伴走者の育成をめざして「伴走マニュアル」を作成し、各地で開催する研修会、講習会を通じてスポーツを通じた共生社会づくりを進めている。
1988年のソウルパラリンピック以降、協会会員がマラソン競技に参加。2006年のIPC*陸上競技世界選手権では、会員の高橋勇市選手が金メダル。 *国際パラリンピック委員会

日本盲人マラソン協会　検索

キラリ★ふくしの仕事

～中学生スタッフチャレンジャー～

8月7、8日に、港南区で中学校2、3年生を対象とした福祉の職場体験事業「キラリ★ふくしの仕事～中学生スタッフチャレンジャー～」が実施されました。
この事業は、本物の「ふくしの仕事」を体験できるプログラムとして、港南区5施設が主催する「福祉jobトライアルプロジェクト」が実施しました。

「福祉job トライアルプロジェクト」メンバー
港南区社会福祉協議会／港南中央地域ケアプラザ／港南つくしんぼ保育園／港南中央地域活動ホームそよかぜの家／港南区生活支援センター／横浜市ボランティアセンター

活動のようす

地域ケアプラザ

午前はデイサービスでの活動。
午後は、サブコーディネーター業務として、大量の資料の仕分け。地味だけど大切なお仕事!

保育園

子どもと遊ぶだけじゃなく、遊び終わったプールの片づけや掃除をしました。子どもたちの目線に合わせて接するのも、保育園でのお仕事!

障害者地域活動ホーム

清掃、創作作業などの部門に分かれてチャレンジ。利用者の状況に応じてサポートすることが職員に求められるスキル!

精神障害者生活支援センター

毎月かかさず発行しているセンター便をつくりました。また、事務所にて電話応対にもチャレンジしました!

この事業は、第4次横浜市地域福祉活動計画 横浜市社会福祉協議会のアクションプランとして実施しました。

参加者にはスタッフチャレンジャーオリジナルバッチを贈呈!

チャレンジ終了後には、活動証明書を参加者全員に授与!

参加者（中学生）からの声

普段のめせんからでは分からない所がたくさんあって、参加したことで別の視点からいろいろと見えたので、やって良かったと思いました。

今までは仕事とか、職業というものが全くわかりませんでしたが、今回参加してみて、これからは高齢者も子どもも関係なく人を支えられる人になりたいと思いました。

主催者からの声

福祉の仕事は大変というイメージになりがちですが、この企画を通じて、人を相手にする仕事はとてもやりがいがあると、中学生に感じていただけたのではないでしょうか。

横浜市内の各区で、夏季を中心にボランティア体験や福祉施設職場体験が実施されています。是非お住まいの区社会福祉協議会へお問い合わせしてみてください。

障害者スポーツ　ボランティア募集

NPO法人 RDA 横浜

多くのボランティアの支えによって活動しています

『障がいをもつ人が乗馬を通じ、活動に関わる人々や馬とのコミュニケーションを深め、分け隔てなく健康的な社会生活を送ること』を目的に、4歳～成人の方が乗馬を行っています。

ボランティアの活動内容は、乗馬中のサポートやパソコン作業、広報誌発送の事務作業などさまざま! まずは見学から始めてみませんか?

馬や障害についての知識や介助方法などを学ぶ講習会も開催しているので初心者の方も安心して参加出来ます。

詳しい内容や日程は「RDA横浜」ホームページをご覧下さい。　RDA 横浜　検索

「障害者スポーツ」のボランティア活動はプール介助、フロアバレーなど、他にもたくさんあります。詳しくはボランティアセンターへお問い合わせください。

ボラちゃんが行く！　水を得た魚②の巻

イラスト：和泉直子

赤い羽根共同募金、始まります　10/1 ▶▶▶ 12/31

共同募金は、地域の福祉施設や福祉活動を行う団体の活動を支える募金です。期間中は、駅前や街頭で募金活動を行うほか、自治会・町内会、職場・学校などで募金協力の呼びかけを行っています。身近な地域福祉を推進するため、ご協力をお願いします。

どんなところに使われるの?

例えば
- ○家事・介護、食事サービス、送迎サービスなどの、地域での助け合い活動の支援に
- ○障害のある人が利用する施設での送迎車両や空調設備などの整備に
- ○保育園の外壁やトイレの改修に

今年から始まる新しい2つの取り組み

感謝の気持ち「ありがとうシール」

「ありがとうシール」は、共同募金の配分を受けた団体が、団体活動にご支援をいただいた皆様への感謝の気持ちを伝えるためのものです。地域作業所の製品など、皆様の目に触れやすいものに貼り活用します。

ワンクリックで1円を募金

横浜市社会福祉協議会ホームページから利用できる「ワンクリック募金」が新たに登場しました。画面の広告をクリックするだけで、協賛企業から共同募金へ寄付される仕組みです。

横浜市社協　検索

横浜生活あんしんセンターでは 弁護士による 専門相談を行っています

高齢者や障害者、またそのご家族や関係者の方々が対象です。

相続や遺言、消費者被害や財産侵害、借金でのトラブルなどの相談を受け付けています。

相談時間は1時間　お困りごとについて、丁寧にお話を伺い、対応方法等を助言します。

出張対応いたします　ご本人の状況に応じて、出張対応いたします。お気軽にお申し出ください。

実施日　毎週木曜日（要予約）
13:30～, 15:00～

費　用　無　料

お問合せ　横浜市社会福祉協議会　横浜生活あんしんセンター
☎045-201-2009　FAX:045-201-9116

横浜生活あんしんセンターとは

権利擁護事業（日常生活自立支援事業含む）、成年後見事業を実施することにより、高齢者及び障害者の権利を擁護し、安心して日常生活を送ることができるよう支援します。

「福祉よこはま」に広告を載せませんか

福祉情報紙「福祉よこはま」の広告企画をご案内いたします。法人・施設の活動広報や企業の宣伝活動にご活用ください。

発行部数　各号45,000部

配布先　自治会町内会、地区社会福祉協議会、地区民生委員児童委員協議会、市内福祉関係施設・団体、小・中学校、高等学校、大学、福祉専門学校、横浜銀行・横浜信用金庫・駅PRボックス等（いずれも横浜市内）

版　下　版下支給・完全データ入稿にてお願い申しあげます。
（使用ソフト:アドビイラストレーター等）
＊原稿から作成される場合は別途制作費用が必要となります。

料　金　（税込価格）
会員・賛助会員は別料金設定

サイズ	一般料金
A 4判（裏表紙）	¥200,000
A 4判（中面）	¥150,000
A 4判1/2（128×180）	¥120,000
A 4判1/4（63×180）	¥50,000

お問合せ・お申し込み　横浜市社会福祉協議会　総務部　企画・IT等担当
☎045-201-2090　FAX:045-201-8385　Eメール:fukuyoko@yokohamashakyo.jp

福祉Q&A

Q「パラリンピック」って なんですか?

A　身体障害者を対象とした世界最高峰のスポーツ競技大会。オリンピックと同じ年に同じ場所で開催されます。「パラリンピック」（Paralympic）の名称は、平行（Parallel）＋オリンピック（Olympic）で、「もう一つのオリンピック」という意味です。ロンドンパラリンピックは8月29日から9月9日まで開催されました。

Q「特別支援学校（とくべつ し えん がっこう）」って なんですか?

A　特別支援学校とは、障害者等が「幼稚園、小学校、中学校、高等学校に準じた教育を受けること」及び「学習上または生活上の困難を克服し自立が図られること」を目的とした学校です。以前は盲学校・聾学校・養護学校と呼ばれていました。（横浜市立以外では、盲学校、聾学校、養護学校と呼ばれる場合があります）

オススメ CINEMA

2012年9月1日～上映／フランス/116分
監督:エリック・トレダノ／オリヴィエ・ナカシュ
配給:ギャガ

『最強のふたり』

ひとりは、スラム街出身で無職の黒人青年ドリス。もうひとりは、パリの邸に住む大富豪フィリップ。何もかもが正反対のふたりが、事故で首から下が麻痺したフィリップの介護者選びの面接で出会った。他人の同情にウンザリしていたフィリップは、不採用の証明書でもらえる失業手当が目当てというフザケたドリスを採用する。その日から相入れないふたつの世界の衝突が始まった。

心が躍り、笑えて、涙があふれるストーリーです。

期待のパラリンピック

初めて福祉よこはまの編集委員になり会議に参加し、最新号の編集内容への意見が、参加された委員の方達から述べられ『ああ、こんな風に参加して行くのだ』と感じました。

特に164号は、表紙から子育ての方々のたくましさが出ており、特集のページも軌を一にして子育ての中身が詰まっている事を感じました。

一方で、163号に寄せられた「読者からのはがき」、E-mailの感想を拝見し、市外の方、定期購読の方様々でしたが、60・70代の方が最多の読者でした。

特集の内容が「読者からのはがき」に反映されているとすると165号が楽しみです。

さて、この原稿を書いている今が「ロンドン☆オリンピック」の真っ最中です。

残念ながら体操も水泳も、当初の予想（金メダル）をかなり外しているようです。

8月29日からは「パラリンピック」が開催されます。かなり有名な車いすバスケットボールを始め、様々な球技が車いすに乗り行われます。また、車いすに乗らないシッティングバレーボールという球技もあるそうです。全体では20種類の競技が行われます。

一方、知的障害者を対象に陸上・水泳・卓球などの競技が行われる予定です。

私は勉強不足でパラリンピックはよく知りませんでしたが、全ての選手が大きく目標を定めて活躍される事を祈ります。

リレートーク

福祉って
ここがおもしろい
ここがむずかしい

横浜市若葉台地域ケアプラザ
所長 内田 清

みんなのきもち ありがとう

みなさまから寄せられたご寄付は、
市内の市民活動団体、障害児・者団体の支援のため、
有効に活用させていただきます。

ご寄付いただきました！

横浜 カ・レイ ロケラニ フラスタジオ

「横浜 カ・レイ ロケラニ フラスタジオ」は、横浜を中心に活動するフラダンスの教室です。

4月15日、日頃のレッスンの成果を発表する「おさらい会」の中で、障害者年記念基金への寄付と横浜市社会福祉協議会から感謝状の贈呈が行われました。

金銭寄付　**障害者年記念基金**

市内の障害者団体や家族団体がおこなう事業に助成をしています。障害児者の自立と参加の促進を目的とした基金です。

寄付者の声

寄付のきっかけは、何よりも私自身が横浜を大好きなことでした。私自身が健康で活動できることへの感謝の気持ちと、家族が障害を負ったことで、若くして身体の不自由な生活を余儀なくされている人たちに出会ったことから、フラダンスの活動の一環として寄付することで、障害のある人たちの活動のお役に立てればと思っています。フラスタジオの生徒の皆さんの理解に恵まれ、団体として寄付することができました。これからも続けていきたいと思っています。　（代表　杉山弘子さん）

寄付者のご紹介

ご支援・ご協力ありがとうございました。順不同・敬称略
平成24年4月1日～平成24年6月30日

よこはま あいあい基金寄付者
- 宗教法人 日本敬神崇祖自修団 石毛 勝彦
- コーヒーの大学院 ルミエール・ド・パリ（2件）
- 佐藤 龍樹
- ヨコハマいきいきポイント（活動者6名より転換金寄付）
- NPO 健康麻雀の会
- 特定非営利活動法人　日米加吟詠連盟 日本國風流詩吟吟舞会 総本部

障害者年記念基金寄付者
- 横浜 カ・レイ ロケラニ フラスタジオ
- 佐藤 龍樹
- ふれあいチャリティーバザー実行委員会 大森 忠久
- 富士松 延治太夫
- ヨコハマいきいきポイント（活動者10名より転換金寄付）
- 共に生きるふれあいバザー実行委員会 代表 北田 正

善意銀行　金銭寄付者
- 佐藤 龍樹
- 日清オイリオグループ 株式会社

- ヨコハマいきいきポイント（活動者23名より転換金寄付）
- コールグリーンロード
- 匿名（3件）

善意銀行　物品寄付者
- 横浜スタジアム オーナーズクラブ 会長 竹村 泰長
- 匿名

福祉基金寄付者
- 佐藤 龍樹
- ヨコハマいきいきポイント（活動者2名より転換金寄付）

賛助会員のご紹介

ご支援・ご協力ありがとうございました。順不同・敬称略
平成24年5月1日～平成24年7月31日新規受付分・継続受付分

団体会員
- 特別養護老人ホーム 今宿ホーム
- 株式会社 成井工務店
- 特定非営利活動法人 アスタ荏田
- 丸五運輸株式会社
- 日本介護食品協議会

個人会員
- 中山 浩志
- 山田 理文
- 我妻 八重子
- 村上 崇文
- 田沢 ハル子
- 佐藤 邦彦

賛助会員になっていただけませんか

賛助会員は、横浜市社会福祉協議会の行う様々な地域福祉推進の“サポーター”として会費による支援を行っていただいています。会員はいつでも、どなたでもなることができます。
【年会費】（個人）一口 2,000円　（団体）一口 10,000円
【お問合せ】横浜市社会福祉協議会　総務部
☎045-201-2096　FAX:045-201-8385
みなさまのご協力をお待ちしています。

みんなの声

前号の感想

400円レシピ集を参考に、お食事会するのもいいアイデアだと思いました。
（南区 岩沢 ありささん）

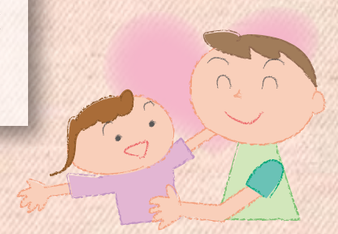
「福祉よこはま」を読むのを楽しみにしております。若いころはあまり「社協」のことについて気にしませんでしたが町内会や老人会の役員になって、社協の皆さんとお付き合いをしてから福祉の重要と社協の皆さんの活動に対し感謝を申し上げます。
（旭区 戸井田 進さん）

磯子区のいそぴよを利用させてもらってます。ママ友がいなかったので、とても助かりました。子育てサポートシステムの記事を読んで、私も会員登録に行きたいと思いました。あと、ボラちゃんを今回初めて見ましたが可愛くて好きになりました。
（磯子区 山田 響子さん）

子育て支援拠点での活動事例が少しわかりました。名称は知っていても、どんなことをしているのか分からない施設、活動を紹介する記事を、これからもお願いします。
（金沢区 滝口 浜子さん）

初めて読みましたが、あたたかみのある良い冊子だと思いました。今度また見つけたら入手しちゃいます。
（南区 新井 小夜子さん）

イクメンっていいですよね!!　自分が子育てをはじめた8年前はまだそんな言葉はありませんでした。これからたくさんのお父さんがイクメンになっていってほしいですよ!!
（保土ケ谷区 眞壁 泰さん）



最近、地域子育て支援の記事を多く目にします。子供は地域の国の宝、住んでいる団地でも子供の元気な声を耳にします。福祉よこはま楽しみにしています。
（保土ケ谷区 後藤 明美さん）

福よこクイズ

たくさんのご応募、お待ちしています！

Q1 特集：通称“マーダーボール”と呼ばれる、パラリンピックの正式種目は「ウィルチェアー○○○○」（カタカナ4文字）

Q2 Let's Try ボランティア:栗田雅章さんが伴走者として活躍する、パラリンピックでも注目のスポーツ「盲人○○○○」（カタカナ4文字）

Q3 市社協情報：横浜市社会福祉協議会のホームページからも気軽に共同募金に参加できる新しい取り組み「○○クリック募金」（カタカナ2文字）

前号164号の福よこクイズの答えは、Q1　はっち　Q2 イクメン　Q3 400でした。多くの方にご応募いただき、どうもありがとうございました。

応募方法

はがき・FAXまたはEメールに、Q1～Q3のクイズの答え・郵便番号・住所・氏名（ふりがな）・年齢・電話番号・「福祉よこはま」の入手法と「福祉よこはま」への感想・意見等（みんなの声に掲載する場合があります）をお書きの上、下記までお送りください。抽選で30名の方にプレゼントを差し上げます。ご応募お待ちしています！

- クイズの答え Q1～Q3
- 郵便番号・住所
- 氏名（ふりがな）・年齢
- 電話番号
- 「福祉よこはま」の入手法と
- 「福祉よこはま」への感想・意見等

締め切り：2012年11月15日（木）消印（はがき）・到着（FAX・Eメール）有効

〒231-8482　横浜市中区桜木町1-1
横浜市社会福祉協議会「福よこクイズ」係
FAX：045-201-8385
Eメール：fukuyoko@yokohamashakyo.jp

福よこクイズがQRコードで便利に応募できます。

QR コードとは?
バーコードリーダーの機能を搭載している携帯電話で、このバーコードを撮影すると、簡単にウェブサイトにアクセスしたり、アドレスを登録できる機能です。

読み取り方
バーコードの利用法は、ご利用の機種によって異なりますが、おおむね以下のとおりです。
①バーコードに対応しているカメラ付き携帯電話で、バーコードリーダーを起動し、バーコードを撮影します。
※バーコードリーダーの起動方法は携帯電話の機種によって異なります。詳しくは、ご利用の携帯電話の取扱説明書をご確認ください。
②バーコードに含まれている情報（ウェブサイトのアドレスなど）が表示されるので、画面の指示に従います。
③メール作成の画面から必要事項を記入して送信してください。

QRコード

※応募に関わる個人情報については、当選者への発送及び福祉よこはま紙面作成の参考にのみ利用させていただきます。

編集後記

● 本誌では「障害のある人のスポーツ」ではなく「障害がある人もできるスポーツ」という視点を大切に取材しました。オリンピックのように、みんなの気持ちが一つになるのはスポーツの力だと実感しました。
樋口宗典

福祉よこはま
No.165
2012年9月14日
次号 No.166 2012年12月 発行予定

発　行：社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会
〒231-8482 横浜市中区桜木町1-1
☎045-201-2090 FAX:045-201-8385
Eメール：fukuyoko@yokohamashakyo.jp
URL：http://www.yokohamashakyo.jp
デザイン：（株）オールスタッフ

広告

全国200万人加入!!

http://www.fukushihoken.co.jp
ふくしの保険　検索

ボランティア活動保険

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

Aプランで
死亡1,400万円
入院7,000円、通院4,100円
賠償責任5億円(限度額)
を補償

活動場所と自宅との往復途上の事故も補償

ボランティア活動のための学習会・会議などでの事故も補償

ボランティア自身の食中毒・熱中症・特定感染症もOK

年間保険料	基本タイプ	天災タイプ
Aプラン	280円	490円
Bプラン	420円	720円

◇天災タイプは基本タイプ+地震・噴火・津波を補償

＊各プランの補償金額、補償内容などの詳細は、専用のパンフレットをご用意しておりますので、最寄りの社協にお問い合わせください。

ボランティア行事用保険

地域福祉活動やボランティア活動の一環として行われる各種行事におけるケガや賠償責任を補償!

● 行事参加者(主催者〔個人〕を含みます。)全員のケガを補償(往復途上も含みます。) ● 行事主催者の損害賠償責任も補償

福祉サービス総合補償

ヘルパー・ケアマネジャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償!

● 在宅福祉サービス
(公的介護保険対象外サービスを含みます。)
● 地域福祉サービス
● 障害福祉サービス
● 児童福祉サービス
● 障害者地域生活支援事業　など

送迎サービス補償

送迎・移送サービス中の自動車事故などによるケガを補償!

● 送迎・移送サービス利用者を特定したプラン
● 送迎・移送サービスのための自動車を特定したプラン

お申込み、お問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ

団体契約者
社会福祉法人
全国社会福祉協議会

この保険は、全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約です。

取扱代理店
株式会社 福祉保険サービス
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル 17F
TEL:03(3581)4667　FAX:03(3581)4763

〈引受幹事保険会社〉日本興亜損害保険株式会社
TEL:03(3231)7545